

第7回厚生科学審議会予防接種部会
日本脳炎に関する小委員会における審議結果について（概要）

平成24年10月31日

- 死亡事例についての評価は以下のとおりです。
- ・ 今年7月の死亡事例については、予防接種との因果関係は不明であり、引き続き調査検討が必要
 - ・ 今年10月の死亡事例については、ワクチンそのものとの関連性は低く、他の要因による影響が大きいものと考えられるが、更なる調査検討が必要
 - ・ 両事例をもって日本脳炎ワクチンによる健康被害のリスクが高まったわけではない

また、日本脳炎ワクチンの定期接種としての取扱いについては、

- ・ 日本脳炎ウイルスは、現在でも脅威であること
- ・ 副反応報告で、ADEM（急性散在性脳脊髄炎）の報告が認められたが、紛れ込み事例が含まれている可能性があること
- ・ その報告頻度は国際的に報告されている頻度と比較して異常とは言えないこと

などを踏まえ、直ちに接種を中止する必要はないと判断されました。

- ただし、今後の課題として以下のものが示されました。
- ・ 国民の予防接種への信頼を向上させるためにも、しっかりとした副反応報告の仕組みを検討すること
 - ・ 今回委員会に報告された脳炎・脳症の症例について、できる限り情報収集を行い、診断の正確性や因果関係について評価を行うこと
 - ・ どの程度の副反応報告があれば中止を検討すべきかの基準の検討が必要であること